

研究室紹介 加藤研究室



加藤研究室は現在、院生4人、学部生4人、計8人のゼミ生が所属する日本語学の研究室です。主に日本語の文法・語彙をテーマに、身の回りにあふれている日本語の不思議について研究しています。加藤研究室では、毎週月曜に読書会を行っています。読書会を通じて日本語学に関する理解を深め、また、専門書を読む力を養うことを目的としています。また、この読書会には、ゼミ生だけではなく、他の研究室からも多くの学生が参加しています。読書会参加者の多くは留学生で、現在は韓国・中国・ベトナム・タイ・モンゴルなどからの学生も参加しており、国際色豊かなメンバーとなっています。もちろん日本人学生の参加も大歓迎です。興味のある方は、ぜひ一度、月曜4時半に国語科演習室に「遊び」に来てください。

加藤研究室 HP <http://mailsrv.nara-edu.ac.jp/~katohs/>
記事： 修士1回 佐伯朋子

クラブ紹介 蹟楽遁部

こんにちは!! 蹟楽遁部です。私たちは書道を楽しむために集まった愉快的メンバーで毎週わいわい活動しています。今は12月に予定している展覧会にむけてがんばっています。現在のメンバーは書道科が中心ですが、誰でも気軽に参加して楽しんで欲しいと思っています。もちろん初心者も大歓迎です。興味のある方は是非一度部活風景を見に来てください



活動日 毎週火曜 5コマ～ 書道棟大教室にて

【蹟楽遁部の展覧会】

日時 12/11～12/16
場所 山田ホール

【書道科の展覧会】

1 回生展

日時 10/23～10/27
場所 山田ホール

3 回生展

日時 11/13～11/17
場所 山田ホール

奈良教育大学書道展

日時 1/12～1/14
場所 奈良県文化会館



記事： 杉原 光 (蹟楽遁部部長)

『奈良県インターンシップ制度に参加して』

文化財コース 3 回生 広浜佑美子
実習先 奈良県庁 広報広聴課
実習期間 平成18年 8月28日から 9月8日まで 10日間

私は奈良県インターンシップ制度に参加し、奈良県庁広報広聴課において、8月末から10日間、奈良県が発行する広報の編集・作成等の実習を行ってきました。実習に先立っては、新聞を読んだり、県庁のHPをチェックするなど事前準備をして実習に参加しました。



蘆インターンシップ実施によって、新たに発見したこと・得たこと。

広報や発信することのおもしろさを知って、世の中を見る時に新しい視点ももてるようになり、何事も積極的にチャレンジすることの大切さを改めて感じました。社会に出て元気と明るさ前向きな姿勢が一番大切であると思いました。

蘆体験で職場から感じたこと。

仕事ひとつひとつが社会とダイレクトにつながっていて、やりがいのある仕事であるということを感じ、楽しく働いている姿が印象的で、

自分も働きたいと思いました。10日間は毎日新鮮で充実し、楽しいものでした。

(写真は、実習中と私が作成したフォトニュースが県庁ロビーに掲示されているところです。)



インターンシップ制度とは

働く環境や社員の意識等を内部から見ることによって、就職後の自分をイメージし、また、ひと足早く社会体験をすることによって、学生から社会人への移行を円滑にしようというものです。

対象は3回生以上です。興味のある方は、学生支援課 就職担当に気軽にご相談ください。(次回は来年4月に募集を予定しています。)

『日本留学事情』

本学在学中の留学生に日常生活で感じたことを書いていただきました

来日から帰国までの日本 GUPTA Ravi Kant (インド)

私は来日してから次々に完全に新しい経験をする事になりました。日本に来てすぐに大学へつれて行ってもらい、あちこちに案内してもらいました。最初に残った印象は日本の制度が結構整っているということでした。それからみんなとすぐ仲良くなって、最初の日曜日はみんなと大阪の電気屋さんに行きました。その時に、日本は極めてきれいで、技術も非常に優れていると感じたのが二番目の印象でした。



日本に来てから数え切れないほどたくさんの体験をして、社会勉強をしたと同時に、それは日本語の勉強にもなりました。20-30人の友達ができ、北海道から九州まで日本のあらゆる場所を旅行し、飛行機、電車、船などに乗ったり、飲み会、カラオケなどにも行きました。このような経験によって、この一年間、日本人の楽しむ方法を理解してきたわけです。インドと日本は似ている点もありますが、やはり違う点もあるはずで

インドで普通の遊びといっても、一口で説明するのは少し無理です。自分なりに楽しむ遊びはもとより、最近流行の技術的な遊び方もあります。しかし日本とちょっと違うな、時々思ったものがあります。例えば国では梅雨が来たときの最初の雨を小さい子供たちが浴びて遊んでいる様子が見かけられません。でもカラオケなどはめったにありません。インドにもUSJみたいな所があって、日本より広いですが、数は日本より少ないです。食べ物も多数の種類があるけどサービスは日本ほどよくありません。立派な記念碑は数多くあるけど日本みたいな清潔さは絶対ありません。

このように私の頭の中ではおのずから日本とインドが比較されています。しかし一年間の日本での生活で、さまざまな考えが変わり、日本に対する理解がもっと深くなってきたと思います。いつかまた日本に来て、もっと理解と経験を重ねて、日本で暮らしたいです。また日本の空気をかいてみたいのです。